

研修参加報告書

平成30年 7月 2日

会 派 名 江政クラブ
会派代表者 河合 正猛

(参加者： 尾関 昭)
研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	平成 30 年 5 月 21 日 (月)
研修時間	13:30 ~ 16:00
研修場所	桑名市役所 、桑名駅西コラボハウス
研修内容	自治体政治総合研究所 主催「桑名市の公民連携(PPP)取組み事例」 (講師： 桑名市長 伊藤徳宇)

②

年月日	平成 年 月 日 ()
研修時間	
研修場所	
研修内容	(講師：)

③

年月日	平成 年 月 日 ()
研修時間	
研修場所	
研修内容	(講師：)

研修参加報告書

①

年月日	平成 30 年 5 月 21 日 (月)
研修時間	13:30 ~ 16:00
研修場所	桑名市役所 、桑名駅西コラボハウス
研修内容	自治体政治総合研究所 主催「桑名市の公民連携(PPP)取り組み事例」 (講師： 桑名市長 伊藤徳宇)
■目的 人口減少時代に向かう地方公共団体の行政運営の難題を如何に乗り越えていくか、首長自ら率先して進めている事業を基に、解説頂きながら今後の展望を講義頂く。	
■内容 ・人口 14 万 1000 人の桑名市に於いては、既に減少傾向にあり、確実に少子高齢化が進んでおり、経常収支比率も類似団体（各務原市・小牧市・稲沢市等）と比べても数値が高く、財政の自由度が特に低い。 ・「桑名市総合計画」の基本理念「7つのビジョン」に基づき、民間の経営資源を活用した「公民連携(PPP)」を取り入れる。 平成 27 年 4 月 1 日 市長公室 政策経営課「行政改革・公民連携推進係」を創設 ・その他「公民連携」や様々な取り組み 『コラボ・ラボ桑名』の開設 ⇒対話の場の創出 ・民間事業者 ⇄ 専門家アドバイザー ⇄ 市職員 ・相互方向での『対話』で提案を現実のものに・・・ ・提案件数 H28 年度 18 件 H29 年度 25 件 ⇒ 実現 2 件 ・区画整理事業の中断移転住宅整備業務（大和リースの応募提案） ・健康マイレージ事業：スマホアプリの活用とWAONとの提携 ・サウンディング型市場調査：市役所駐車場の収益性について 又木茶屋 飲食・物販事業の再開 『指定管理制度』の廃止 施設の維持・継続を前面に出さない、フラットな意見の集約。 『市職員の大学派遣』 東洋大学（大学院）へ年 1 名の派遣。 国内あらゆる公民連携（PPP）を学び、民間と話せる職員を育てる。	

■所感

将来的に迫り来る、財政難に苦しむだろう地方行政に対し、早期に次々と手を打っていく市長の未来を見据えた行政運営は、先駆的でありながらも何れは標準的な動きとなるはずである。当市に於いても「公共施設再配置計画」による床面積 14%削減に向けた多くのヒントを頂く、大変有意義な視察となった。